

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	77%	100%	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の人格と立場を理解、尊重し、助け合うような人間形成が図れるよう、家庭教育に関する学習等の機会を設ける。 ○ 学校だより、学級通信、保健だより等の発行により、学校での男女参画社会を目指した取組状況を紹介 家庭への啓発を図る。 ○ 家庭教育手帳(文部科学省)を活用して、その一部を学校通信に掲載し、啓発を図る。 							
平成21年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校91% 中学校71% ○ 「学校・学級通信」を発行した。 ○ 校区別人権・同和教育懇談会を人権・同和教育参観日に行った。 ○ CAPによる講演会の開催。 ○ 三世代交流事業への参加。 ○ 親子で協力して「ものづくり」を行い、よりよい親子関係づくりとコミュニケーションの方法について学びあった。 							決算額
							—
							実績値
							88%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域への情報発信となった。 ○ 「ユダヤ差別の歴史とホロコースト」について講演を実施した。多数の参加者があり、世界的な人種差別問題から身近な差別の危険性についてわかりやすく話され参加者には好評であった。 ○ 昨年度の反省から参観日等に各事業や講演会を計画したが、参加人数に確保が難しい。しかし、参加者のアンケートでは、内容がよく、もう少し時間がほしかったという意見が多かった。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ○ みんなが興味を示し、積極的に参加できる事業を行う。(参加率を上げる) ○ より多くの人々が会の企画・運営に参画し、みんなで作り、参加できるような事業を開催する。 							予算額
							—
							目標値
							100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	22館	30館	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
<p>家庭教育力の向上を目指して、保護者会などの機会を活用し、思春期の子どもを持つ親を対象に、公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。</p>								
平成21年度実績								
【家庭教育講座】 実施公民館数：26館 講座実施回数：52回 延べ時間数：94.3時間 参加者数：1,784人(うち、男性:635人 女性:1,149人)								決算額
								173千円
								実績値
								26館
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
<p>実施公民館数が、平成20年度現状値から4館増加した。 講座の内容として、子育て、食育などが中心となっているため、参加者がどうしても女性中心になってしまう。 職をもつ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成22年度予定								
【家庭教育講座】 実施公民館数：28館 講座実施回数：78回 延べ時間数：146時間								予算額
								317千円
								目標値
								29館

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
校区別人権・同和教育懇談会	人権啓発課	3回	5回	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>人権尊重の意識を高めとともに人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。</p>							
平成21年度実績							
会場 宇和島市立曾根小学校 平成22年1月24日(日) 参加者:70名 「幸せ一番のカギ ～差別する心から、ともに生きるころへ～」 講師 宇和島市人権教育協議会吉田分会副会長 浅田 淳 さん 会場 宇和島市立畑地小学校 平成22年2月7日(日) 参加者:100名 「みんなちがって みんないい」 講師 のらねこ学かん館長 塩見 志満子 さん						決算額	
						25千円	
						実績値	
						2回	
						進捗状況	
						3	
事業に対する評価・課題等							
<p>講演内容は、それぞれ、1年生の児童から保護者、地域の高齢者まで幅広い年齢層を対象にお話しをいただき、それぞれの年齢・立場の方々に深い感動を与えた。また、親子での参加、地域住民への呼びかけにより地域参加型の人権・同和教育懇談会が実施できた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成22年度予定							
人権尊重の意識を高め、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、人権問題講演会等を2回程度開催する。						予算額	
						44千円	
						目標値	
						2回	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課 [子育て支援]	100%	100%	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことによりいじめや不登校の未熟防止に努めます。</p>							
平成21年度実績							
通常保育の一部として行い、全ての保育所で実施している。							決算額
							0千円
							実績値
							100%
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
前年と同様							予算額
							0千円
							目標値
							100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規	
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	100%	100%	①充実	●	②継続	③新規	
事業の概要								
幼稚園において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させる。また、園児一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめなどの未然防止に努める。								
平成21年度実績								
○幼児一人一人の特性を理解し、よりよい成長が図られるよう見守り、援助する・幼児同士のかかわりを深め、協同して遊ぶ等、心を育んできた。 ○男女混合名簿を使用する。 ○男女の特性のよさを生かす保育に心掛け、家庭との連携を深めるよう努めた。 ○保護者に年3回、人権に関する文書を配布・幼児には、自分の周りの人も大切にできるような子に育つようにと、自尊心が高められるように努めた。 ○幼稚園活動の中で、友達の良いところを認め合ったり、互いに協力し合ったりしながら当番活動をしたりする中で、固定的な役割意識を植え付けないよう取り組んできた。 ○家庭参観など子育てに関心を示してもらう機会を設けると共に、人権同和教育の研修や保育実践を行う。							決算額	
							-	
							実績値	
							100%	
							進捗状況	
							5	
事業に対する評価・課題等								
○幼児一人一人の発達に即した教育を行う。 ○職員の意識改革に努める。 ○小規模園のため、内容を充実させることが難しい。 ○人権同和研修会等を通し、人権の尊重への意識や家庭生活の大切さを理解してもらっている。しかし父親の参加が課題である。 ○一人一人の幼児理解に努め、発達課題を明らかにし、個々に則した指導に取り組むことができた。集団生活における決まりの必要性を教え、自己抑制ができるよう努めるとともに、命の大切さについても知らせしていく。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
平成22年度予定								
○幼児理解と個々の発達や実態に即した指導の在り方。 ○人権・同和教育学習会の実施。混合名簿使用。 ○多園との交流や、地域の人々とのかかわりをもつ機会を積極的に作る。 ○今後も見直しを図りながら継続して実施していく。 ○家族参観日・人権同和研修会の開催。							予算額	
							-	
							目標値	
							100%	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規	
豊かな心を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	95%	100%	①充実	●	②継続	③新規	
事業の概要								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育の充実。 ○ 児童生徒一人一人の特性に応じた指導を行うことによりいじめや不登校の未然防止について。 ○ 生徒会等の役割分担において、男女共同参画で実施。 ○ 部活動において、その特性により、性別に関係なく活動できるようにしている。 								
平成21年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校97% 中学校85% ○ 清掃・運動会・遠足・栽培活動などを1年生から6年生までを3班に分けた縦割り班で行った。 ○ 宇和特別支援学校との交流活動を学期に1回、計3回の交流活動を実施した。 ○ 全校児童対象に「なかよしアンケート」を学期に1回、計3回行った。 ○ 教員一人一人の能力・特性を生かした適材適所の校務分掌の配置。 ○ 年齢・性別の特性を生かした学年部の設定。 ○ 毎月定期的に実施する教育相談と職員会の時に行う生徒指導関係の共通理解の充実。 								決算額
								—
								実績値
								95%
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年、性別を越えた助け合いや教え合いで協力して活動に取り組むことができた。 ○ 昨年に引き続いた事業でもあり、学級や学校にすんなりとけこみ明るく楽しい学校生活を送った。 ○ 児童からの情報収集ができ、いじめ不登校の未然防止に役立てることができた。 ○ 教員一人一人の能力・特性を生かした適材適所の校務分掌の配置。 ○ 年齢・性別の特性を生かした学年部の設定。 ○ 毎月定期的に実施する教育相談と職員会の時に行う生徒指導関係の共通理解の充実。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成22年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 異校種間の交流活動を取り入れる。(保育園、小・中学校など) ○ 男女平等の理念から適材適所の校務分掌。 ○ 教職員の人権意識の向上と協力体制。 ○ 児童一人一人を大切にされた教育相談の充実。 								予算額
								—
								目標値
								100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課	1回		①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。</p>							
平成21年度実績							
会場 宇和島市立コスモスホール三間 平成21年8月4日(火) 参加者:500名 「子どもの生きる力をはぐくむ」 講師 エンパワメント・センター主宰 森田 ゆり さん						決算額	
						386千円	
						実績値	
						1回	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
<p>子どもとの適切な関わり方や子どもに安心と自信をもたらすための方法をお話していただき、子どもたちの生きる力をはぐくんでいくために非常に参考になった。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成22年度予定							
平成22年度は貧困問題から人権への理解と認識を深めるため、生活困窮者支援などを行なうNPO法人自立生活サポートセンター「もやい」の事務局長を務める傍ら、現代日本の貧困問題を訴え続ける湯浅誠さんを招聘し、宇和島市の全教職員に対して、平成22年8月10日(火)に宇和島市立コスモスホール三間で講演会を開催する。						予算額	
						399千円	
						目標値	
						1回	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向		
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規
特別支援教育推進事業	教育総務課	100%				
事業の概要						
子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図る。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図る。						
平成21年度実績						
<ul style="list-style-type: none"> ○園便り、クラス便りなどを通して、保護者の啓発・発信を行う。 ○遊びの中で男女の区別なく多様な活動を行う。 ○園生活で幼児にできる仕事は自分たちで進んで出来るよう、環境を整えた。 ○女の子だから男の子だからといった決めつけた見方や考えを見直す。 ○どの子にも等しく教育や保育の機会が与えられるよう努める。 ○生きる力の育成等幼稚園活動全般の中で、幼児の発達状態に応じた指導を行った。 ○一人一人の個性や自主性を尊重し、様々な体験を通して自分に自信を持ち、自分を大切にできる子どもを育てる。 ○家庭教育学習会を実施し、家庭教育の大切さや楽しさなどを共有することで、保護者の子育ての参考になることや思いを発信してきた。 						決算額
						—
						実績値
						100%
						進捗状況
						4
事業に対する評価・課題等						
<ul style="list-style-type: none"> ○自分で考え、自分で行動することができる、生きる力の基礎を身につけることが大切である。 ○子供を取り巻く環境の変化を踏まえつつ、生きる力の基礎を身につける心の教育の充実に努める。保護者アンケート等を活用し課題や問題点を探る。 ○運動遊び等様々な体験ができると思われる。 ○幼児が仕事や手伝いに、主体的に取り組むようになる指導が引き続き必要である。 ○特別支援教育を充実していくためには、ゆとりある人員の確保や、一部の者ばかりでなく、すべての職員に対する研修の必要性を感じている。 						
男女共同参画の視点での評価						
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5
平成22年度予定						
<ul style="list-style-type: none"> ○家庭教育学習会の内容の選択と連携の充実 ○家庭教育啓発の在り方や連携の充実 ○遊びの中で男女の区別なく多様な活動を行う ○園生活全般の中で、幼児が指示を待つのではなく、自分で考えて行動できるよう見守る ○友達の良いところを認める指導を心掛ける ○配慮を要する幼児の入園希望があるならば、できる限り職員全体の意識統一の下、善処できる体制づくりをしていく。 ○21年度実績の見直しを図りながら継続実施していく 						予算額
						—
						目標値
						100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
特別支援教育推進事業	学校教育課	95%		①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実について。 ○ 校内支援委員会において、より適切な就学ができるようにする。 							
平成21年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校91% 中学校85% ○ 特別支援教育支援員を週4時間、週2日、年35週、年間140時間活用した。 ○ 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成した。 ○ 一人一人の障害の内容を考えた学級編制。 ○ 自立支援を考えた教育課程の編成。 ○ 教育環境の整備。 							決算額
							—
							実績値
							90%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援員が授業に入ることで、対象児童はもとより他の児童も落ち着いて授業に取り組めるようになった。 ○ 個別の支援計画や指導計画に基づき、全教職員が共通理解のもと、長期的な視野に立った指導やかかわりができた。 ○ 少人数による個に応じた支援により、成長の成果が現れた。 ○ 支援員との協力により落ち着いた学習活動ができた。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 個に応じた支援活動の充実。 ○ 支援員との協力体制の強化。 ○ 教育環境整備。 							予算額
							—
							目標値
							100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続		③新規
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	100%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別をとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図っている。 ○ キャリア教育の推進。 								
平成21年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校71% 中学校85% ○ 具体的な将来像を描けるようキャリア教育の充実。 ○ 総合的な学習の時間を利用した体験活動の充実。 ○ 性別にとらわれない学級の係活動。 ○ 職業選択の自由が憲法で認められていることを6年生の社会で学習。 ○ 6年生が自分の進路を見据えて、進路選択できる下地をつくる。 ○ 校内就学指導委員会の開催。 								決算額
								—
								実績値
								73%
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各活動をととして、男女の協力体制ができてきた。 ○ 児童にとって、学校・学級の係活動、委員会活動をすることで働くことの大切さが理解できた。 ○ 将来についての目標を立てさせることが必要。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成22年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育の充実。 ○ 社会見学・体験活動の充実。 ○ 性別にとらわれない学級の係活動。 ○ 外部講師による学習活動の推進。 								予算額
								—
								目標値
								100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努める。							
平成21年度実績							
○職員会や園内研修で共通意識をもち、協力して仕事に取り組んだ ○PTA活動に積極的に取り組み、活動が浸透するよう努めた ○父親の保育参加の推進を図る ○職員が協力し、自分たちでできる仕事は自分たちで遂行できるよう努めた ○PTA便りなどへの記事の投稿や、アンケート調査を行った ○保護者(特に父親)が参加しやすいPTA活動を行った。園行事への参加呼びかけを行ってきた ○園行事への父親参加を呼びかけ、子育てへの関心を持ってもらう ○保護者へPTA研修会への参加の呼びかけや参加を通して学習の機会を提供してきた							決算額
							—
							実績値
							87.5%
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
○行事を日曜日に実施したため、参加が多かった ○PTA活動の中で、男女参画にかかわる家庭教育に関する学習の機会を提供する ○保護者の協力で、園運営が円滑に行われた ○アンケート調査が実施できなかった ○PTAの研修会等への参加は仕事の都合などで母親中心になってしまいがちであった。園行事には父親の参加も多く協力的であった。今後も参加しやすい設定を工夫していきたい。 ○子育てへの理解までには至らないが協力する姿が見受けられるようになった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成22年度予定							
○園内研修と幼児への適切な指導のための研修会や保護者学習会の実施 ○父親が参加しやすい内容の行事を行う ○家庭数減少の現状に合わせてPTA活動の精選を行う ○より多くの男性に参加してもらえるようなPTA活動を心掛ける ○21年度の内容の見直しを図りながら継続して実施する ○園行事を中心としたPTA活動							予算額
							—
							目標値
							100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努めている。 ○ 専門職としての資質・能力の向上と信頼される教職員の組織づくり。 							
平成21年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校85% 中学校71% ○ 学校運営のための校務分掌を企画会、職員会議を経て決定した。 ○ 教員一人一人の能力・特性を生かした適材適所の校務分掌の配置。 ○ 学校運営をスムーズに行うための教職員の参画。 ○ 男女の特性を生かしたPTA活動への参画。 ○ 校務分掌決定に「男女」という性別をなくす。 							決算額
							—
							実績値
							83%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 適材適所の組織作りができ、スムーズな学校運営ができた。 ○ 学校長を中心に組織的な学校運営ができた。 ○ PTA活動への父親の参加が増えた。 ○ 校務分掌の見直しをすることで教職員の学校運営への参画意識が高まった。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門職としての資質・能力の向上と信頼される教職員の組織づくり ○ 全員で協力できる体制づくり 							予算額
							—
							目標値
							100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[4] 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規	
教職員の資質・能力の向上推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	75%	100%	①充実	●	②継続	③新規	
事業の概要								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒に対し適切な指導が行えるよう、教育関係者(教職員)への男女共同参画にかかわる研修の充実について。 ○ 教職員の資質能力の向上。 								
平成21年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校77% 中学校71% ○ 月2回の定期校内研修を実施した。また個人で研修会へ参加し校内研修や職員会議で報告した。 ○ 学校長を中心に組織的な学校運営ができた。 ○ 校務分掌の見直しをすることで教職員の学校運営への参画意識が高まった。 ○ 男女性差なく研修の機会が与えられており、指導力、人間的魅力を高めている。 ○ 互いに戒め合い、認め合う職員室の雰囲気づくり。 ○ 専門的・実践的な自己研修。 ○ 内閣府男女共同参画のウェブページを参考に研修を実施。 								決算額
								—
								実績値
								76%
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員として研さんに努め意識の向上が見られた。 ○ 研究授業実施にあたり、学年部を中心に指導案審議を熱心に行い、自信をもって授業が行えた。 ○ 二つの指定校事業に対して校内研修を重ね、計画的に推進ができた。 ○ 男女共同参画に関する教職員の意識は高い。 ○ 男女共同参画に関するキーワードを軸に理解を深めることが出来た。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成22年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員の能力・資質の向上のために計画的な校内研修を行う。 ○ 学力向上、学習指導の改善についての研修を行う。 ○ 各研修会へ積極的に参加する。 ○ 学級活動の年間指導計画の中に男女共同参画の視点を組み込む。 								予算額
								—
								目標値
								100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向					
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●		
男女共同参画出前講座	企画情報課 [総務]	—	5回	①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
<p>市民が男女共同参画を理解し、職場・学校・地域・家庭、その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成が促進されることを目的として、各種団体等が主催する集会や研修会につき、講師派遣及び謝礼金などの支援を行なうもの。</p>									
平成21年度実績									
<p>○宇和島人権擁護委員協議会 男女共同参画委員会主催 日時：平成21年12月19日(土) 場所：鶴島公民館 講師：正井 礼子氏 テーマ：「ドメスティックバイオレンスの現状について」</p>								決算額	
								200千円	
								実績値	
								1回	
								進捗状況	
		1							
事業に対する評価・課題等									
<p>各種団体が主体的に行なう活動の中で、男女共同参画社会づくりに向けた勉強会を行なうことは、大変有意義な事と考える。勉強会を行なった団体からは、「内容も分かりやすく、20名程度の少人数であったため、質問などしやすく大変良く、成果があった」との意見を頂いた。</p>									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成22年度予定									
<p>昨年度同様に広報へ掲載して事業の周知を図り、団体等の実施する研修会等の支援を行なう。</p>								予算額	
								200千円	
								目標値	
								2回	

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
自治会別人権・同和問題学習会	人権啓発課	47回	120回	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティーも疎遠になりつつある。</p> <p>このような状況の中で、心通い合う明るい町をつくることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。</p>							
平成21年度実績							
<p>わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 目的：同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる差別を解消する意欲と実践力を養う。 開催期間：平成21年11月18日～平成22年2月25日 会場：16自治集会所（24自治会区） 延べ参加者数：268名 内容：人権クイズ、録音素材による人権学習他 講師：公民館主事、教職員、その他</p> <p>であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会 テーマ：一人ひとりの人権が大切にされる「温かいふるさとづくり」をめざして 会場：各自治会集会所又は公民館（14箇所） 日時：平成21年10月1日（水）～10日（金） いずれも19:30～21:00 参加者：14自治会の地域住民（男：60名、女：40名、計：100名） 講師：三間町人権教育推進委員（37名：8班編成）</p>							決算額
							717千円
							実績値
							30回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 参加者が年々減少しているため、周知や内容等の検討が必要である。</p> <p>であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会 参加者が全体で100人程度と少なく、今後どう広めていくかが課題である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
<p>わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 人権クイズや録音素材で同和問題、障害者問題、難民問題、児童虐待等人権について学習予定 予定期日：11月～2月（37自治会で講座予定）</p> <p>であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会 平成22年度は16行政区で実施予定</p>							予算額
							1145千円
							目標値
							53回

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●
生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	1講座/年	1講座/年	①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
講演会や研修会等あらゆる機会を通じて男女共同参画の理念や内容についての啓発を行うために、研修会を行う。							
平成21年度実績							
実績なし。							決算額
							0千円
							実績値
							0講座
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
平成21年度は講座を実施できなかったが、来年度は目標の1講座実施したい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成22年度予定							
生涯学習の視点から、青少年人材育成といった「キャリア教育」に関して、若年層の「働くこと」「職業の意義を把握できること」「自身の将来を設計すること」等を意識付けることを目的に、市内高校生を対象に実施する事業の報告会の中で生徒・教諭・社会人を参集しての「男女共同参画社会」についての研修会を実施したい。							予算額
							100千円
							目標値
							1講座

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	来場者数 1200人	5,000人	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。							
平成21年度実績							
事業名: 下記『人権を考える市民の集い&ふれあいマーケットカギ』 会場 岩松公民館・地域活動支援センター グリーン工房 平成21年10月25日(日) 参加者: 600人 内容: 福祉団体参加によるチャリティフリーマーケット 太鼓集団「津島泉風太鼓」・「蓮」・「ゆうあい太鼓」による演奏 大道芸人Kibitoによるコメディパフォーマンスショー 津島中学校生徒&吹奏楽部による人権ソング 講演: 講師 宮本延春「オール1の落ちこぼれ、教師になる～いじめ、引きこもり、天涯孤独の絶望を乗り越えて～」							決算額
							955千円
事業名: 『人権をまもる市民の集い』 テーマ: 「一人一人が大切にされる人権のまちづくりをめざして」 会場: 吉田公民館大ホール 期日: 平成22年2月12日(金) 参加人数: 500名 内容: バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(連合婦人会吉田支部)、合唱(吉田中学校生徒)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、人権啓発劇(遠見子ども会) 人権講演会: 講師 宮本延春(オール1の落ちこぼれ、教師になる)							実績値
							1700人
事業名: 『三間町小・中・高連合「人権あったかコンサート」』 会場 コスモスホール三間 平成21年11月26日(木) 参加者: 600人 内容: 三間高生による箏曲演奏 小・中・高各1名による人権メッセージの発表 シンガーソングライター梅原司平によるコンサート並びに、小・中・高生との合唱							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
事業名: 『人権を考える市民の集い&ふれあいマーケット』 今年度は、地域活動支援センター「グリーン工房」のふれあいマーケットとの合同開催となった。障害者のための授産施設として建設された経緯があり、以前から地域住民との交流イベントとしてフリーマーケットを開催していたので、今回は障害者の人権問題を中心として提起、啓発、交流を試みた。実行委員会方式を採用したことにより、学校・行政・障害者団体などの交流が深まり、人権ソング合唱と津島泉風太鼓は、ともに中学生による発表で、日頃の人権学習への取り組みを校外に向けてアピールする良い機会となった。合同開催による参加者の上積みも期待したが、時期的に行楽シーズンということで日程が競合するイベントも多く、例年並みの参加者数となった。							
事業名: 『人権をまもる市民の集い』 幅広い市民の参加と協力をいただき、様々な人権への取組みの中で、市民に人権をより身近に感じてもらい人権の大切さを伝えることができた。また、遠見子ども会の児童・生徒による「いのちと食」をテーマにした人権啓発劇『いのちをいただく』の発表では、いのちのつながりの中で生きている私たちの認識を深め人権意識を高めることができた。							
事業名: 『三間町小・中・高連合「人権あったかコンサート」』 今年は、中学校生徒会及び高校生による実行委員会を中心に司会、運営を行った。実行委員会方式を採用したことにより、学校・行政・団体などの交流が深まり、日ごろの人権学習への取り組みをアピールする良い機会となった。合同開催による参加者の上積みも期待したが、老人会等の参加は多かったが、保護者の参加が思いのほか少なく、例年並みの参加者数となった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成22年度予定							
事業名: 『人権を考える市民の集い』 平成22年度は、宇和島市主催で実施している「人権を考える市民の集い」と吉田地域独自で実施していた「人権をまもる市民の集い」を合同して吉田町で開催する予定。 テーマ: 『一人一人が大切にされる人権のまちづくりをめざして』 期日: 平成23年2月11日(金)【建国記念の日】 会場: 吉田公民館大ホール 内容: バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(連合婦人会吉田支部)、合唱(吉田中学校生徒)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、人権啓発劇(遠見子ども会) 記念イベント: 村崎太郎『猿まし芸』 人権演説: 講師 栗原美和子 事業名: 「人権あったかコンサート」 平成22年12月15日(水)開催予定(講師 堀内圭)							予算額
							1,164千円
							目標値
							1300人

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[3] 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	●	③新規
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課			①充実		●	③新規
事業の概要							
いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化、多様化、専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館をはじめとする生涯学習関連施設を中心に、多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。							
平成21年度実績							
【地区公民館】 学級講座 ①家庭教育講座52回 ②人権・同和教育講座31回 ③婦人学級29回 ④高齢者学級55回 ⑤成人学級5回 ⑥公民館座167回 【生涯学習センター】 1. 第17回生涯学習うわじまフェスティバル事業 ①宇和島イギリス音楽祭436人 ②市民大学(4回)202人 ③第7回宇和島名作劇場342人 ④青少年人材育成事業88人 ⑤第12回宇和島文学歴史講座281人 ⑥松山大学公開講座50人 ⑦キャリア教育講演会121人 2. 学級講座 ①ミニチュア牛鬼作り講座6回36人 ②光る泥だんご講座2回94人 ③アロマテラピー講座2回24人 ④布で作るお正月飾り講座3回63人 ⑤クリスマスリース講座1回17人 ⑥パソコン講座25回276人							決算額
							4,297千円
							実績値
							—
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
各種学級講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土・日や日中、夜間等に分散して開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成22年度予定							
【地区公民館】 学級講座 ①家庭教育講座78回 ②人権・同和教育講座47回 ③婦人学級34回 ④高齢者学級65回 ⑤成人学級21回 ⑥公民館座111回 ⑦その他11回 【生涯学習センター】 1. 第17回生涯学習うわじまフェスティバル事業 ①市民大学4回 ②第8回宇和島名作劇場 ③青少年人材育成事業 ④第13回宇和島文学歴史講座4回 ⑤宇和島芸術祭 2. 学級講座 ①ミニチュア牛鬼作り10回 ②光る泥だんご講座2回 ③アロマテラピー講座3回 ④パソコン教室30回 ⑤布で作る季節の飾り講座6回							予算額
							4,678千円
							目標値
							—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課 [総務]			①充実	②継続	③新規	●
事業の概要							
<p>男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取り組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報紙などにより周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成21年度においては、市及び教育委員会主催、PTA連合会・女性団体連絡協議会等団体との共催により、国の男女共同参画推進本部が実施する「男女共同参画週間」に合わせて、「男女共同参画フェスティバル」を開催する。</p>							
平成21年度実績							
<p>【男女共同参画フェスティバル】 日時:平成21年6月28日(日) 9:00~16:30 場所:南予文化会館 内容:体験談(初めての入院「乳がんになって」~皆さん、ぜひ検診を受けてください~ 講師 加賀城 和代(元保育園長) 映画(DVD)上映(タイトル:「Mayuまゆ-ココロの星-」、男女共同参画作品コンクール表彰式、 トーク&コンサート(う~み氏)、 トークショー(家族みんなで「気合いダァ!」~アニマル浜口流 体当たり子育て論~) (進行役 らくさぶろう氏) マンモグラフィ検診、男女共同参画パネル展示等、加工品等即売会(生活研究協議会・企業組合あこやひめ) 来場者:約500名</p>							決算額
							3,095千円
<p>【男女共同参画防災講演会】 日時:平成21年12月20日(日) 会場:宇和島市役所2階 大ホール 講師:正井 礼子氏(NPO法人女性と子ども支援センター「ウイメンズネット・こうべ」代表) 演題:「報道されなかった本当の阪神・淡路大震災~あなたの大切な人は大丈夫?~」 参加者:約100名</p>							実績値
							—
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>○「男女共同参画フェスティバル」において、身近なテーマに視点を置いた講演や映画上映などを行なう事により、実生活と男女共同参画との関わりについて、意識が深められたと思われる。また、家族や地域への感謝の気持ちなどを込めた手紙等の作品を大会に先立って募集し、当日優秀作品について表彰・紹介を行なった。しかしながら、当日来場された方の意見を聞いて見ると、朝から夕方までの大会は長いとの意見が多数あったため、次年度については、大会の時間等を再考する必要があるのではないかと考える。</p> <p>○防災講演会の当日は雨模様であったため、来場者が予想より少なかった事が残念であった。また講演の内容について、阪神・淡路大震災での女性にまつわる様々な問題や、子どもへの性的暴力といったマスコミに取上げられなかった話など、大変内容のあるお話を聞く事ができた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成22年度予定							
<p>【男女共同参画推進大会】 日時:9月23日(祝・木) 13:00~15:30 場所:南予文化会館 内容:啓発DVDの上映(ワーク・ライブ・バランス) 男女共同参画作品表彰式、ロビー展(男女共同参画啓発パネル、人権等に関するパネル、健康に関するパネル) 講演会 講師 家田荘子氏</p>							予算額
							2,558千円
							目標値
							—

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	②継続	③新規	●
ICTメディア・リテラシーの推進	企画情報課 [総務]						●
事業の概要							
実施していない。							
平成21年度実績							
							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成22年度予定							
							予算額
							目標値

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3. 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H20)	目標値(H24)	①充実	●	②継続	③新規	
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	①充実	●	②継続	③新規	
事業の概要								
○ 一人一人が様々な情報について自ら考え判断できるよう、メディア・リテラシーの向上のための学習機会や各種情報について								
平成21年度実績								
○ 小学校80% 中学校71% ○ 年度当初の研修会でメディア・リテラシーの研修を行う。 ○ 長期休業を利用して外部講師を招いた校内研修を行う。 ○ 主任が職朝や終礼でウイルスチェックの呼びかけを行う。 ○ 各教科、総合的な学習の時間においてインターネットを活用し「調べ活用」に活かした。 ○ 男女及び個々のメディアリテラシーの格差を解消。								決算額
								—
								実績値
								78%
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
○ 教職員全体にメディア・リテラシーへの意識が高まった。 ○ 教職員一人一人が自分のパソコンの管理を慎重に行うようになった。 ○ 指導の根拠となる学習指導要領自体、男女共同参画を反映しておりメディア・リテラシー向上における男女差を意識することは無い。								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成22年度予定								
○ 学校のホームページを開き情報を発信する。 ○ 教職員一人一人がメディア・リテラシー向上に向けた研修を受ける。 ○ 情報機器の効果的な活用を行うとともに、危機管理に対する意識を常にもつ。 ○ 各研修会へ積極的に参加する。 ○ 情報教育の充実。								予算額
								—
								目標値
								100%

平成21年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—